

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- 第1回理事会
開催年月日 令和5年5月19日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 8名／理事人数8名
議決事項の概要
 - 令和4年度事業報告及び決算について
 - 令和5年度事業計画及び予算（案）について
 - フードプリンターの更新について

- 通常総会
開催年月日 令和5年5月27日（土）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 49名（うち表決委任者34名）／会員総数54名
議決事項の概要
 - 令和4年度事業報告及び決算について
 - 令和5年度事業計画及び予算（案）について

- 第2回理事会
開催年月日 令和5年10月27日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 8名（うち表決委任者1名）／理事人数8名
議決事項の概要
 - 副理事長の選任について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 就業規則の一部改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 給与規程の一部改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 初任給・昇格・昇給等に関する細則の一部改正について
 - 令和5年度 積立金の積み立てについて

- 第4回理事会
開催年月日 令和6年3月21日（木）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 8名（うち表決委任者1名）／理事人数8名
議決事項の概要
 - ぽんぽん船就業規則の一部改正について
 - 育児・介護休業等に関する規則の改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船業務継続計画（BCP）の策定について
 - 指定障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営規程の一部改正の一部改正について
 - 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 指定特定・指定障がい児相談支事業者運営規程の一部改正について
 - 虐待防止及び身体拘束等の適正化のための指針の策定について
 - 令和6年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】 就労継続支援B型

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組み、例年並みの作業量・作業収益を確保することができた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新規の注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで、客層がさらに広がっている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品すること、商品のマンネリ化による売り上げ減少を防ぐため、新しいクッキーの試作・販売に取り組むことで、売上アップにつながっている。

また、利用者の就職等により、ここ数年でクッキー作業に従事する利用者が減少したため、作業工程の見直しを行い、クッキーの飾りつけが簡単にできるよう3Dプリンターで作成したスタンプを使用しての飾りつけに切り替えてきた。作業に参加できる利用者が増えたり、つけ忘れによる不良品も減り、スピードアップ・量産につながっている。できる作業が増えて自信につながると同時に時給もアップし、利用者の励みとなっている。

スーパーでの売り場改善や観光客の増加等により、店舗での売り上げが伸びたことも影響して、例年並みの収益を得ることができ、工賃向上につながることができた。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、丁寧で正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、平成29年度は6軒、平成30年度は7軒、令和元年度は7軒、令和2年度は8軒、令和3年度は7軒、令和4年度は6軒のぶどう農家で作業に取り組んできた。

令和5年度は、ぶどう作業を継続して行ってきた利用者の就職等、利用者不足の中ではあったが、回数が少ない農家もあるものの9軒のぶどう農家で作業に取り組んだ。

地域の農福連携事業推進のため、島根県障がい者就労事業振興センターの農福連携担当者、農福連携事業に取り組んでいる他の就労継続支援B型事業所等、地域の関係機関と連携・情報交換しながら、作業を進めてきた。先進的な取り組みということで、県外からの圃場見学や新規に取り組む事業所への作業指導講師としての依頼も多く、農福連携事業推進のため対応してきた。

長年の取り組みで、農家からの信頼や期待が高まることが、利用者の自信や励みにつながっており、技術が向上した作業については、単価交渉をして時給を上げる等、工賃向上にもつなげていくことができた。

就職等による利用者不足から、ぶどう作業を専門で行う利用者がいない状況であり、今後も利用者の増加が見込めず、クッキー作業と調整しながらの状況が続くようであれば、作業バランス、利用者や職員の負担を考慮し、ぶどう作業を縮小していく必要がある。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園・多伎体育館のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通しての安定した作業となっている。

施設外に出かけていくことで気分転換にもなり、地域の方と関わることで、公共施設を任されているという責任感や適度な緊張感をもちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

(株)ナカバヤシ、(株)かみありづき、(株)河内の内職作業の他、地域のいちじく農家の箱折り作業等、複数の作業に取り組んだ。新たなことにも挑戦しようと、令和4年度末に作業依頼があった町内の企業(株)日本貿易産業ひな人形の喜峯の作業にも、試験的に1年間取り組んでみたが、難易度が高く、経験を重ねても完璧にできる利用者がいなかったため、継続を断念した。

また、不定期ではあるが、出雲市より宛名シール貼り・封入作業を請け負い実施した。どの作業も、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。請負作業を行う利用者が増えたが、作業工程を分解・分担して、みんなで協力して効率よく進めることができ、確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保することができている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、継続してアルミ缶をリサイクルすることができた。

アルミ缶の回収量は横ばいだが、缶の引取り価格が高いまま安定していることで、工賃向上につなげることができた。

②【相談支援事業】 指定特定・指定障がい児相談支援事業

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町の障がい児5名と、町内の障がい者1名の相談支援を担当してきた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	5名	17名	35,269
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	6名	1,271